

海洋管理のための水産事業 (SeaBOS)

海洋管理に対する我々の取り組み – 政府への嘆願

前文

生物圏を維持しながら、2050年までに90億人以上の人間のために健康的な食糧を生産することは、人類が直面している最大の課題の1つです。我々は、天然漁業と養殖業からの両方を含む、世界の水産物生産の拡大が、国連の持続可能な開発目標(SDGs)を達成する重要な機会であると確信しています。適切に規制、管理された水産物の生産は、革新的な技術とともに、健康的な食糧の供給を増加させ、地上の食糧生産システムに対する圧力を緩和するでしょう。

水産物は、既に世界の食品ポートフォリオにおいて中心的な役割を果たしており、動物性タンパク質の世界的摂取量の20%を占めています。捕獲漁業は、天然資源の捕獲に基づく、唯一の大規模食糧生産システムで、世界の水産物の供給量の半分の

占めています。しかし、すべての捕獲漁業が持続可能になるためには、多くの改善が必要です。規制された漁業でも過剰漁獲状態に陥っている場合もあり、我々の社会は、これまで、IUU(違法、未報告、無規制)漁業、漁船での現代の奴隷制 ともいえる強制労働、生息地および（混獲により意図せず捕獲される）目的外の生物種に対する破壊的影響を排除できていません。これらの問題は、より良い科学的情報、より効果的な規制、コンプライアンスの監視および実施のための、より良い仕組みで対処することができます。政府間で、お互いに学ぶべきこともたくさんあります。短期間の間漁獲圧を低減させるなどの漁業管理の改善は、資源の回復と生態系および人類両方にとっての長期的な便益となるのです。資源が適切に管理されれば、世界の漁業の水揚げ量は大幅に増加する可能性があります。

水産養殖は世界の水産物の供給を、劇的に変えました。健康的で持続可能な水産物の供給は、将来の需要を満たすためにさらに増加する必要があります。しかし、水産養殖部門は、環境問題への対応となると個々に差があります。将来のニーズに応えるため、飼料、汚染、病気の流行、抗生物質の過剰使用の課題に、ガバナンス強化によってより包括的に対処する必要があります。

海洋からの健康的で持続可能な食糧の生産を増やすことは、水産物の生産だけに関わるものではありません – 海洋管理の基礎に頼る必要があるからです。世界各地の水産物生産者は、事業規模にかかわらず、共通点が1つあります。すべて、健康で機能している生態系に依存しているという点です。海洋が持続可能な方法で管理されていなければ、漁業および水産養殖はその潜在能力を完全に発揮することはできません。

適切に管理された漁業および水産養殖が、回復力のある生態系で行われれば、健康的で持続可能なタンパク質の供給につながります。十分な規制とベストプラクティスは、SDGsの達成に貢献すると同時に、将来の水産物の生産を維持、拡大するために非常に重要です。海が死んでしまえば、水産業界の存続はありません。また、水産物がなければ、持続可能な開発目標を達成する機会はないと信じています。

SEABOSとは

我々は、海洋管理のための水産事業(SeaBOS)イニシアチブの会員で、世界最大の水産企業9社を代表しています。我々は世界各地で操業し、事業の範囲は、水産業のあらゆる分野を網羅しています。我々は、世界の漁業、水産養殖業のリーダーです。

我々は科学者と緊密に協力し合い、海洋と地球を健全なものにするための問題と解決策を特定し、それにより世界中の人々が健康的で持続可能な水産物を口にすることができるようにします。我々は、水産業界のバリューチェーン全体で他の事業者への影響力を持ち、SDGs達成において政府を支援する独自の能力を備えたグローバルなグループです。我々は、結集させた影響力により模範を示すことで先例を示し、共同声明を出すことで変革を主張していきます。

我々は、自社の業務を改善し、業界他社にも追従するよう働きかけます。また、漁業、水産養殖、ひいては海洋全体が、確実に持続可能な形で管理されるよう、規制当局への支援も提供します。

我々の取組みは2016年11月、我々8社が海洋の将来についてのグローバルな対話をするべく一堂に会したことから始まりました。ソネバ・ダイアログと呼ばれるこの会議では、共同声明が2016年12月に出され、この声明文で海洋に対するリーダーシップの役割を果たす意思を表明し、海洋管理のための水産事業イニシアチブを発表しました。2017年5月には、このイニシアチブをさらに進展させるため、ストックホルムで2度目の会議を開催し、新たな企業も加わりました。

我々の取組み

我々の取組みは始まったばかりですが、既に海洋管理に関して数多くの強力なコミットメントを決めています。

サプライチェーンにおいて、IUU製品および現代的な奴隷制度を排除するために協力して取り組みます。これらのコミットメントを遂行するため、自社の事業およびサプライヤーのための行動規範を策定します。また、サプライチェーン全体での完全なトレーサビリティと透明性に向けて取り組みます。

水産養殖飼料を効率的に利用し、持続可能な漁法で捕獲された資源から魚の飼料資源を使用することを約束します。魚の健康管理システムおよび治療に至る前の予防の方法を積極的に使用、開発することを約束します。既存の認証基準を積極的に活用、適用し、有害廃棄物や生息域の破壊を防止します。業界全体に対し、同様な取組みをするよう呼びかけます。

また、漁業、水産養殖、海洋に対する既存の規制を改善するため、政府と積極的に連携することを約束します。

2018年の6月に、今から1年後のこの取組みの進捗状況を報告します。

我々の嘆願

IUU漁業に対処するため、すべての各国政府が協力することを強く要請します。天然漁業のさらなる発展のために、政府が過剰漁獲を終わらせ、枯渇した資源を回復させることを奨励します。これには、割り当て制度に関する科学的助言を尊重し、規制におけるベストプラクティスを共有することが非常に重要です。

国際水域の規制を改善するため、すべての各国政府が協力することを要請します。すべての政府に対し、FAO寄港国措置協定(PSMA)に署名し、国連加盟国が批准するため、IUU魚のすべての水揚げを禁止するPSMAに類似した国際条約規制を作成するよう求めます。

持続可能な水産養殖のための共通の枠組みを構築するよう、各国政府に要請します。政府は、資源の使用を改善し、疾病を管理する規制を構築する上で重要な役割を果たしています。この責任を真摯に受け止めることが重要です。また、既存の政策を改善するため、積極的に経験を各国間で共有するよう、各国政府に要請します。

漁業や水産養殖の管理、規制、政策の改善、新たな規制の遵守の監視に貢献する、新たな技術およびイノベーションを歓迎します。

最後に、水産業に起因する問題ではないものの、水産業が現在直面している課題に世界の政府が取り組むことを要求します。汚染物質やプラスチック粒子による魚の汚染、養殖事業に必要なきれいな水の欠如、気候変動、海洋酸性化や低溶存酸素レベルにより我々の長期的な事業が損なわれるのであれば、世界的な人口増加および富裕層の拡大による需要に応じるために、健康的で持続可能なタンパク質の生産を保全、拡大することは出来ません。

我々は、出来る限り、これらの取組みにおいて、政府をサポートします。